

市民アンケート調査の概要（案）

1. 調査の目的

本調査は、ごみの減量・資源化に向けた取組みや収集体系の見直しなどについて、市民の意見聴取を行い、今後の施策展開の基礎資料とするために実施するものです。

2. 調査の設計

- (1) 調査地域：樺原市全域
- (2) 調査対象：樺原市在住の満18歳以上の男女
- (3) 標本数：1,500世帯
- (4) 調査方法：郵送による配票、回収
- (5) 調査期間：発送後、2週間程度の回答期間を設定する

3. 調査の内容

- (1) 回答者の属性について
 - ① 性別
 - ② 年齢
 - ③ 居住地区
 - ④ 家族構成
 - ⑤ 住居形態
 - ⑥ 自治会（管理組合）への加入
- (2) ごみの減量や資源化などの取組みについて
 - ① ごみの減量・資源化に向けた取組みの認知度
 - ② ごみの減量の実践度
 - ③ 指定ごみ袋の排出量
 - ④ ごみの減量・資源化に向けた具体的な実践度
 - ⑤ ごみの減量・資源化に向けた今後の取組みに対する要望
- (3) ごみの収集体系の見直しについて
 - ① 全品目を対象とした戸別収集の拡充に対する意見
 - ② 各品目の収集頻度に対する要望
 - ③ 粗大ごみの一部費用負担制度の必要性
 - ④ 粗大ごみ有料化による減量の実践
 - ⑤ 粗大ごみリクエスト収集の仕組みに対する要望

ごみの収集方法等についての市民アンケート（案）

平成●年●月●日

記入上の注意点

- 1) 世帯の中で、「主にごみを取り扱う方」が代表してお答えください。
- 2) 質問ごとに指定した数だけ、口チェックボックスに✓をつけてください。
「その他」を選択した場合は、具体的な内容についてもご記入ください。
- 3) 結果を有効に活用できるように、できる限りすべての質問にお答えください。

アンケート用紙はご回答のうえ

平成●年●月●日（●）までに

同封の返信用封筒にて郵送してください。

問合せ先

橿原市役所

生活環境部 クリーンセンター業務課

所在地：〒634-0826 奈良県橿原市川西町 1038-2

電話：0744-27-0526／FAX：0744-27-7452

【問 1】ご自身（回答者）についてお尋ねします。

【問 1-①】性別（✓は1つ）

- 1. 男性
- 2. 女性

【問 1-②】年齢（✓は1つ）

- 1. 10代
- 2. 20代
- 3. 30代
- 4. 40代
- 5. 50代
- 6. 60代
- 7. 70代
- 8. 80歳以上

【問 1-③】居住地区（✓は1つ）

- 1. 香久山地区
- 2. 八木地区
- 3. 今井地区
- 4. 新沢地区
- 5. 耳成地区
- 6. 畝傍地区
- 7. 金橋地区
- 8. 白樫地区
- 9. 真菅地区
- 10. 鴨公地区
- 11. 多地区
- 12. ご不明の場合はお住まいの町丁名をご記入ください。（町 丁目）

【問 1-④】家族構成（✓は1つ）

- 1. 単身
- 2. 夫婦のみ
- 3. 夫婦と子ども（2世代世帯）
- 4. 親と夫婦と子ども（3世代世帯）
- 5. その他（ ）

【問 1-⑤】住居形態（✓は1つ）

- 1. 一戸建て（持家）
- 2. 一戸建て（賃貸）
- 3. 集合住宅（分譲）
- 4. 集合住宅（賃貸）
- 5. 併用住宅（店舗・事務所等）
- 6. その他（ ）

【問 1-⑥】自治会（管理組合）への加入（✓は1つ）

- 1. 加入している
- 2. 加入していない
- 3. わからない
- 4. その他（ ）

【問 2】 ごみの減量や資源化などの取組みについてお尋ねします。

樺原市ではごみの減量や資源化に向けて次のような施策に取り組んでいます。

- ・ 3Rの推進に向けた広報媒体による情報提供、環境学習等の普及啓発
- ・ 家庭系ごみの有料指定袋制度
- ・ リサイクルフェアやリユース市などの開催
- ・ 生ごみ処理機などの購入助成制度
- ・ 環境保全有料店舗（エコショップ）の認定制度
- ・ 資源ごみ（缶・びん、PET・プラボトル、古紙類、廃食用油、小型家電等）の資源化
- ・ 地域住民団体への再資源集団回収報償金制度 など

【問 2-①】 ごみの減量・資源化に向けた取組みをご存知でしたか。（✓は1つ）

1. よく知っている 2. いくらか知っている
 3. あまり知らない 4. まったく知らない

【問 2-②】 日ごろからごみを減らす工夫をしていますか。（✓は1つ）

1. 大いに工夫している 2. たまに工夫している
 3. あまり工夫していない 4. まったく工夫していない

【問 2-③】 可燃ごみ（指定袋 45L 相当）を週にどのくらい排出していますか。（✓は1つ）

1. 1袋以下/週 2. 1袋/週 3. 2袋/週
 4. 3袋/週 5. 4袋/週 6. 5袋以上/週

【問 2-④】 ごみの減量や資源化に向け、どのような取組みをしていますか。（✓は各1つ）

ごみの減量・資源化に向けた行動		いつも実行している	たまに実行している	あまり実行していない	実行したことがない
①	買い物袋（マイバッグ）を持参している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②	使い捨て商品を買わない、詰め替え容器を使用した商品を選ぶ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③	食べ残しや食材が残らないようにしている	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④	生ごみはしっかり水切りして排出している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤	生ごみを堆肥化している	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【問3】ごみの収集体系の見直しについてお尋ねします。

少子高齢化の進展など社会構造の変化により、ごみ集積所までごみを運び出すことが困難となる世帯の増加が予想されています。そこで、樫原市では利便性の向上と負担の軽減等を目的に、全ての品目を対象として戸別収集を拡充することを検討しています。また「粗大ごみ」については、ごみの減量・資源化や排出量に応じた費用負担の公平化を目的に、有料による申告（リクエスト）方式の戸別収集の導入を検討しています。

申告（リクエスト）方式による戸別収集とは…
 住民からの事前の申し込み（電話・Web など）により、対象となるごみを軒先や管理敷地内の道路に面した場所等で収集する方式をいいます。

樫原市の新たなごみ収集体系（案）

種別	主な品目	収集方式	頻度	排出方法	料金	
可燃ごみ	生ごみ、紙類、衣類 木製・プラ製品等	戸別	週2	指定ごみ袋	有料	
不燃物	ガラス・陶磁器、金属類等 不燃性粗大ごみ	集積所 ↓ 戸別	月1	箱、結束等 ↓ 袋	無料	
粗大ごみ	可燃性粗大ごみ ↓ 可燃・不燃性粗大ごみ （一時多量ごみ）	集積所 ↓ 申告式 戸別	月1 ↓ 指定日	概ね1m程度 の大きさ ↓ 大きさ指定なし シール制 （台数制）	無料 ↓ 有料	
資源ごみ	かん類 びん類	スチール・アルミ缶 白・茶・その他びん	戸別	隔週	回収容器	無料
	PET・ プラボトル	PET ボトル プラボトル	集積所 ↓ 戸別	月1	専用ネット ↓ 袋	無料
	古紙類	新聞、雑誌、ダンボール	戸別	月1	結束	無料
有害物	蛍光灯、電球、乾電池	集積所 ↓ 戸別	月1	箱、結束等 ↓ 袋	無料	

凡例： 変更前 → **変更後**（変更後も集合住宅等はごみ集積所を利用します。）

【問3-①】 全ての品目を対象に戸別収集を拡充することについてどう思いますか。 (✓

は主なもの5つまで)

- 1. 排出場所が近くなり便利になる
- 2. ごみの減量や分別による資源化を心がけるようになる
- 3. ごみ出しの時間やマナーをしっかりと守るようになる
- 4. ごみを出した人が特定されるので責任感が増す
- 5. ごみ集積所の管理に伴う負担や問題が減る
- 6. 不法投棄がされにくくなる
- 7. 現行の収集方法が住民に浸透しており混乱を招く
- 8. 近所付き合いが希薄になる
- 9. 道路際にごみを置くので、いたずら、盗難、事故などが気になる
- 10. 排出場所が増えるので収集時間が延びる
- 11. ごみの収集漏れが起こりやすい
- 12. 業務効率が低下してごみ処理経費がかさむ
- 13. 特にない
- 14. その他 ()

【問3-②】 各品目について、どのような収集回数(頻度)を希望しますか。 (✓は各1つ)

分別品目		増やした ほうがよい	ちょうど 良い	減らした ほうが良い	市の収集 をやめる
		増加	← 減少	→	減少
①	可燃ごみ (現行：2回/週)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②	不燃物 (現行：1回/月)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③	粗大ごみ (現行：1回/月)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③	缶・びん類 (現行：1回/2週)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④	ペットボトル・プラボトル (現行：1回/月)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤	古紙類(新聞・雑誌・段ボール) (現行：1回/月)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥	有害物(蛍光灯・乾電池等) (現行：1回/月)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【問 3-③】 ごみを多く出す人と出さない人の公平化を図るために、粗大ごみの排出量に応じて費用の一部を負担する制度が必要だと思いませんか。(✓は1つ)

- 1. 大いに思う
- 2. 少し思う
- 3. あまり思わない
- 4. 全く思わない
- 5. どちらともいえない

【問 3-④】 粗大ごみが有料化された場合、ごみを減らす工夫をしますか。(ものを修理して長く使う、分別を徹底する、知人に譲るなど) (✓は1つ)

- 1. 必ず行う
- 2. たぶん行う
- 3. あまり行わない
- 4. 全く行わない
- 5. どちらともいえない

【問 3-⑤】 粗大ごみの申告(リクエスト)方式による戸別収集を導入する場合、どのような仕組みを希望しますか。(✓は主なもの5つまで)

- 1. ごみの排出量や容積などに応じた費用負担の公平化を図る
- 2. ごみの排出量を減らすため、排出個数に制限を設ける
- 3. ごみ分別辞典等により、わかりやすい案内を行う
- 4. インターネット等を活用し、夜間や休日などにも申込みが行える
- 5. 受付完了後、できる限り速やかに収集する
- 6. 土日等の休日にも収集を行う
- 7. 立会いにより玄関先まで収集を行う(集合住宅や狭隘地区などを含む)
- 8. 収集の日や時間帯を希望できる
- 9. お身体の不自由な方などを対象に宅内からの運び出しに対応する
- 10. 処理困難物(スプリングマットレスやコンクリート製品など)を回収できる制度とする
- 11. 引越しや片付けなどの一時多量(臨時)ごみに対応する
- 12. 家具類等の再使用(リユース)など資源化を促す制度とする
- 13. 不燃物や有害物などの品目も申告(リクエスト)方式とする
- 14. 不法投棄対策を強化する
- 15. 生活保護世帯などの低所得者に配慮する
- 16. 説明会などを通じて制度の説明を行う
- 17. ごみ処理事業を効率化し、経費を削減する
- 18. その他 ()

◇ ごみに関するご意見やご要望等があればご記入ください。（自由記入）

ご協力ありがとうございました。
同封いたしました返信用封筒に入れて投函してください。